



ROTARY CLUB OF

NARITA AIRPORT MINAMI

DISTRICT 2790

WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第2790地区第6分区分

成田空港南R.C. 会長テーマ
小さな親切

思いやり

創立 昭和41年10月6日
承認 昭和41年11月21日
例会日時 毎週木曜 12:30点鐘
(最終例会 18:30点鐘)
例会場 中国ダイニング富士屋
事務局 〒289-1732
千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178
URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>
E-mail info@narita-airport-m-rc.jp

第2790地区ガバナー 崎山 征雄 第6分区分ガバナー補佐 進藤 義男

平成21年6月18日発行 NO.1893第2021例会 会長 富 一美 会報担当 伊藤 元雄



例会報告(平成21年6月18日)

点	鐘	会 長	富 一美
ソ	ン	グ	「それでこそロータリー」
唱	和		「四つのテスト」
会 長	挨 拶	会 長	富 一美
会 務	報 告	会 長	富 一美
幹 事	報 告	副幹事	古西弘和
プ	ロ	グ	ラ
ム			
	総括報告	富会長	
	各委員会報告		

次年度理事会 (例会終了後)

会長挨拶



この一年を振り返って

みなさんこんにちは。

先の銚子の猿田神社での移動例会に、梅雨空の足元の悪い中ご出席をいただきました会員の皆さん、そして、昨日行われました奉仕の実践活動であります海岸清掃にご参加を頂きました会員の皆さん、平日の大変お忙しい中をご参加いただきまして有難うございました。改めて、感謝申し上げます。

さて、富年度も残すところ、本日を含めて13日となりまして、25日が最終例会となります。ここまで大過なく責務が遂行できましたのも、会員の皆さんの暖かいご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

本日は、会長挨拶を含めまして、この「一年を振り返って」の総括報告をさせていただきます。

本年度、李東健 (D. K. Lee) R I 会長の Make Dreams Real 「夢をかたちに」のテーマ並びに3つの強調事項、そして、崎山ガバナーの3つの重点活動目標に主眼を置いて、努力をして参りました。そして、今年1年のクラブ会長テーマを「思いやり」とさせていただき、愛(他人の喜びを自分の喜びとする心)と誠(世のため人のためになることを思う心)と調和(自分だけではなく周りの人々みんなが常に幸せに生きることを願う心)の心をベースにクラブ作りを目指し、「当クラブの会員並びにロータリー家族の皆様の物心両面の幸せを願うとともに、地域社会へ貢献する」を今年度の運営理念といたしました。

本年度、私たちのクラブに大きな変化をもたらしたものが、大きく分けて三つあると思います。

一つにはCLPの導入です。クラブの安定性、発展、成長を遂げるために、R Iの推奨するCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)を導入する運びとなりました。ロータリーの運営を考える時に、自分のクラブはどんな特徴を持っていて、何処に長所があり、又、何処にや欠点があるのか、そして、その問題個所をどのように修正したらよいかということ、的確に、そしてまた客観的に評価する方法というのは実に難しいことでありまして、科学的・計量的物差しになる基準と言うものがロータリーには無かったのではないかと思います。それが為に、毎年、“例年並み” “当たらず触らず”の基本方針が中心であったことは否定できないことでもあります。

又、ロータリーに“変えなければならないものと、変えてはならないもの”があるという常習的な言い回しの中に“変えて波紋を起こしたくない”というある種の詭弁が入っていたように思えてならないのは私だけではなく、会長経験者の皆さんならば一応にそう思われたのではないのでしょうか。私は、CLPはロータリーの組織運営におけるISOのようなマネジメントシステムの要素があると思います。

この一つのファクター（要素）として四半期に一度ぐらいの継続的改善Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（見直し）を繰り返し行うことによって、次のクラブ活動や委員会活動の見直し・反映が確実にでき、常にスパイラルアップ（螺旋状に向上）するところにあります。

もっと簡単に申し上げますと、常に遣ったことに対して評価、見直しを繰り返して、常に向上させようとする方向へ導く方法（仕組み）と言う事になります。つまり、クラブの全会員が物心両面の満足を得るための手段でもあります。

従いまして、常に朝礼暮改の精神で全会員が積極的にロータリー活動に参加することにより積極的なロータリー、活性化したロータリー、クラブリーダーが育成されるロータリーになると思います。

何度も申し上げて来ましたが、CLPのねらいは、クラブの体質強化、クラブの活性化です。活性化、体質強化には様々な取り組みがありますが、待ちの姿勢では活性化にはなりません。やはり奉仕に係る親睦や活発な会員間のコミュニケーションにより、会員の皆さんの達成感や満足感が得られなければ、いつしかメッキが剥がれてしまい、元の黙阿弥になってしまいます。

継続は力なりと申します。継続的改善を繰り返し繰り返し行うことが大事です。常に積極的な姿勢を持ち続けることを忘れないで頂きたいと思います。以上が一つ目です。

二つには意識の変化です。CLPの導入によりまして、まず会員の皆さんが、変化に適応するべく、その変化を受け入れようとする気持ちに大きく意識が変わったということです。

特に、私たちロータリアンは実業人やいは専門職に携わる職業人（経営者）でありますので、自らの事業の進歩、発展には関心が在ると思います。良きロータリアンとして成長した時、自らの生業や通常の活動の中で、楽観や、熱意や、精神力、そして特別な目標を持てるようになってきたからではないでしょうか。

又、自分自身を打ち込める理想的な組織であると認識し始めたからではないでしょうか。又、我々の職業を通じて、我々よりも恵まれない人達を助けるのを目的とする理想的な組織であることを悟ったからではないでしょうか。又、我々自身よりも遥か彼方の地平線を見る機会がある事も知ったからではないでしょうか。

つまり、ロータリアンとしての本質的な自覚に芽生えたからではないでしょうか。以上が二つ目です。

三つにはクラブ名称の変更です。意識の変化により、会員相互の絆が強くなり、クラブを良くして行こうという気運が高まるにつれ、この機に乗じて、これからのクラブの将来を見据え、進歩、発展を願い、クラブ名称の変更をすることの採択をし、クラブ名称を変更する運びとなりました。

その後、旧横芝ロータリークラブは、本年2月20日をもちまして、RI（国際ロータリー）理事会決定により成田空港南ロータリークラブの名称使用のご承認を頂き、「成田空港南ロータリークラブ」と正式にクラブ名称を改定するに至りました。

当クラブの歴史を振り返りますと、1966年（昭和41年）10月6日に創立以来、先輩ロータリアンの意思を継いで43年の年月を経て今日に至っております。

今、当クラブも近隣市町村の合併や区域限界の再編等、時代の変貌と共に先輩ロータリアンの皆さんが築いてこられた伝統を礎に、ステップアップの時を迎えるに至りました。成田空港南RCと言う名称は、非常にグローバルな名称でございます。将来に向け大きな飛躍と、世界と共に変化して成長していく創造力、そして何よりも忘れてはならないものが、名前の持つ大きなパワーであり求心力であると思います。

今、この時を迎え、会員の皆さんの「思い」を、これからも大切に育てて行くことを望んで止まないところでございます。。

以上が、本年度、私たちのクラブに大きな変化をもたらした、三つの大きな飛躍です。

続いて、活動計画に基づく報告へ移らせていただきます。

お陰様をもちまして、活動計画書に記載しております長期計画及び数値目標も会員の皆様のご理解とご協力により、ほぼクリアすることができました。それでは、5大常任委員会分野別に主な活動について振り返ってみます。

1. 会員増強・退会防止分野について

年度スタート時42名で、本日現時点で47名となりました。純増5名です。純増2名の数値目標は完全に達成することができました。最終目標50名には今一步でしたが、次期鈴木年度に託したいと思います。

ここで、大変大事なことですのでお話をしておきたいのですが、会員増強の大切さについて今一度考えてみたいと思います。ロータリーにとって会員増強は、【ロータリアン最大の奉仕であり、責任である】ということ。そして、ロータリーの最大の財産は【ロータリーの会員である】ということをお忘れてはならないということです。どのような組織でも人を育て後継者を育成していくことが出来なければ、組織そのものが存続しません。当クラブは、地域密着型のロータリーを目指しておりますが、地域に一人でも多くのロータリーの奉仕の理念を持った善良なロータリアンを増やし、そのロータリアン一人一人が地域に良い影響を与えたいということは、必然的に地域が良くなるということの意味します。そして、会員であるロータリアンが会員候補者を入会に導くことは、どんな善行よりも立派な善行であり、立派な利他行（徳を積む）であると言えます。

「情けは人のためならず」と申します。「善き思い」を持つとその人の運命が好転するという現象は、人を助けるような美しい思いが宇宙の法則に叶っているということをまず念頭に置きながら、是非皆さんがその思いを持って、質の高い優秀な人材をロータリーへ導き入れて頂きたいと思っております。

2. クラブ広報分野について

・奉仕活動をマスコミ等へリリースすることにつきましては、奉仕プロジェクト委員会と連動して、新聞、町広報、インターネット活動記録の掲載など広報活動には大きな成果がありました。

・特に、当クラブのイメージキャラクター募集ポスターを各地域に掲示し配布するについては、非常に大きな効果がありました。

3. クラブ管理運営分野について

・出席率としては、100%を目指しておりましたが、年間で平均出席率は97.8%でした。

・親睦活動として、親睦ゴルフ大会2回、親睦グランドゴルフ大会1回、新入会員歓迎会を含めた親睦会は7回です。

・ニコニコBOXとしては、

6月11日現在で1,019,211円でした。

目標額100万円を達成することが出来ました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。本日分及び25日最終例会を含めると、幾分かは上乘せされると思います。

4. ロータリー財団・米山記念奨学会分野について

・ベネファクター1名（青柳 誠会員）

・ポール・リスフェロー1名（小林定男会員）

・マルチプルポールハリスフェロー2名
（菅井直秀会員、富 一美会員）

・米山功労者3名

（内田裕雄会員、越川博光会員、鈴木恭一会員）

以上合計7名の方に財団支援についてご理解とご協力をいただき目標を達成できました。ご協力を頂いた会員の皆様には心から感謝申し上げます。

5. 奉仕プロジェクト委員会分野について

★職業奉仕担当のプロジェクトとして

・優良企業職場訪問について

昨年8月28日に松尾富士見台工業団地BMW新車整備センターの視察研修を実施致しました。

・職場移動例会（勝覚寺）について

当クラブ会員の小杉会員が住職をされておられる（宗）真言宗智山派勝覚寺で移動例会を行いました。昼食は、京都仕込みの本格的な精進料理、そして卓話は「勝覚寺に纏わる郷土の歴史」と大変有益な卓話を頂きました。

・職場移動例会（猿田神社）について

次年度地区職業奉仕委員長で銚子ロータリークラブの猿田会員が宮司をされておられる、猿田神社で移動例会を行いました。「猿田神社の由来」と題して大変有益な卓話を頂き、例会後に拝殿において当クラブの進歩、発展と当クラブ会員の事業の安泰を祈願してご祈祷をしていただきました。

★社会奉仕担当プロジェクトとして

・昨年9月13日に新世代育成の一環として、少年野球チーム（東陽スポーツ少年団）の皆さんを千葉ロッテマリンスタジアムへ招待して、ロッテ選手との交流会やロッテとソフトバンクの試合を観戦し、夢と希望を与えました。

・昨年9月28日に栗山川環境美化啓蒙運動として横芝小学校高学年の子供たち、そして、PTAの皆さん、そして、当クラブの皆さんと栗山川地

域環境ボランティア清掃活動を実施致しました。

・昨年10月4日に新世代育成の一環として、山武市野球連盟杯少年野球大会を協賛して「人作り」の大切さを啓蒙啓発し、低学年に参加賞、優勝チームにカップ、メダルを贈呈致しました。

・昨年11月27日に地域の安全と安心を目指して、横芝光町へのAED（自動体外式除細動器）を贈呈いたしました。

・昨年12月7日に新世代育成の一環として、第3回横芝光町青少年剣道大会に協賛して「人作り」の大切さを啓蒙啓発いたしました。

・本年1月に横芝光町長佐藤晴彦氏より「アンダンテ稲の旋律」を支援する横芝光町民の会の賛同依頼があり、当クラブとしても協賛致しました。

・昨日6月17日（水）に横芝光町、横芝光町観光協会に協賛して、奉仕の実践活動として海岸清掃を実施致しました。環境美化啓蒙運動並びにクラブ広報と大きな成果がありました。

★国際奉仕担当プロジェクトとして

・短期交換留学生として アメリカからの交換留学生でありますミスローレンさんの受け入れと、平山未咲（光中学校）さん、朝長璃紗（松尾高校）さんの2名がアメリカへ交換留学いたしました。

・2009～2010年度短期交換派遣候補生選考試験において、当クラブからの志願者であります横芝中学校2年生篠崎未来さん（女性）が合格いたしました。しかし規定により地区青少年交換委員会から交換学生として出発時に15歳の年齢に達してない候補生は遠慮して欲しいとの要請があり、交換学生としての権利は温存したまま2010～2011年度にアメリカへ交換留学することになりました。

6. その他について

・年度当初に行われた地区セミナー、そしてRYLA、WCS等には関係会員の皆さんの積極的な参加を見ることが出来ました。

・ガバナー公式訪問は、昨年9月4日に東金エストーレホテルで当クラブ、東金RC、東金ビューRC3クラブ合同で行われました。

・地区大会は、昨年10月25日ホテル・ザ・マンハッタン幕張、翌26日習志野文化ホールで二日間に亘り行われました。その際の表彰式において、当クラブが会員増強優秀クラブ部門、会員増

強拡大賞増加率部門・出席成績優秀クラブ部門の三つの表彰の榮譽に与りました。

・IM（インター・シティー・ミーティング）は、本年2月24日にプラザヘイアン茂原で行われました。

・クラブ例会数は次週25日を含めて42回と成ります。

・上半期の外部講師・会員による卓話については、外部卓話はまずまずでしたが、会員卓話においては、今少し回数を増やすなど内容の充実を図る工夫が必要とする課題が残りました。下半期はやっと後半に成り、積極的に会員卓話を増やすことが出来まして、職業を理解し、会員相互の親睦や理解を深め、ロータリーの職業奉仕の推進に寄与することができました。

・ガバナー補佐主催による第6分区会長幹事会は6回、分区のゴルフ大会は1回行われました。明日、6月26日（金）新旧会長幹事会が予定されております。

・区域限界3市町村長の椎名千収山武市長、相川勝重芝山町長、佐藤晴彦横芝光町長に名誉会員になっていただきました。これにより、より一層の地域密着型のロータリーが実現出来るようになりました。

・会計監査は、6月30日に予定を致しております。

・クラブ理事会は、定例理事会12回、臨時理事会6回行いました。

・CLP委員会は、3回行いました。富年度分として7月早々に最後の四半期分のCLP委員会を開催する予定です。

以上を持ちまして、私のご挨拶並びに「この一年間を振り返って」の総括的なご報告と致します。

ここで改めまして、一年間が無事に推移できましたのも会員の皆様のご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。そして、特に忘れてならないのが、小林幹事と若梅事務局です。小林幹事には、陰に成り日向になり支えていただきまして有難うございました。又、若梅事務局さんにも同様にお世話になり有難うございました。若梅さんには、いつも口癖のように、優秀な事務員さんがいるクラブは、幹事が育たないからそのままの若梅さんでいいよと言っていたのですが、皮肉なことに会報作成を続けているうちに「門前の小僧習わぬ経を読む」で、いつの間にか優秀なロータリアンに成っておりました。

今後とも宜しく申し上げます。どうも有難うございました。

■ 会務報告

1. 海岸清掃実施について

昨日6月17日(水)に横芝光町、横芝光町観光協会に協賛して、海岸清掃を実施致しました。当クラブからは、15名参加致しました。

2. 進藤ガバナー補佐からの書簡について

進藤ガバナー補佐から、先の8対1の誤報発言により、当クラブに対して第6分区内の皆さんに大きな誤解を受ける結果になってしまったことについてのお詫びと訂正についての書簡を頂きました。6月26日の新旧会長幹事会において、訂正文書の配布と皆さんに訂正のご説明をしていただけるそうです。進藤ガバナー補佐のこの度の真摯なご対応については、敬意を表します。

3. 新旧会長幹事会について

6月26日大網ロータリークラブホストで新旧会長幹事会が行われます。

私(富)、小林幹事、鈴木会長エレクト、古西次期幹事の4名で出席をする予定です。

■ 幹事報告

①週報受領クラブ

・流山R.C.

③6月25日(木)移動例会及び会長幹事慰労会(あづま庵)のお知らせ



■ 委員会報告

◆ 小川佐内会員

CO2削減に貢献する植物、マルガイについての紹介がありました。

CO2の吸収同化率が一般の植物の20倍・杉の50倍のミラクルパワー(フィリピンの場合)

皆さんで地球温暖化防止に貢献しましょう!

■ ニコニコボックス

菅井直秀君・白石和明君・高田一行君

…法政大学野球部 全国優勝おめでとう

鈴木恭一君・古西弘和君

…海岸清掃に欠席してすみません

富一美君

…海岸清掃お疲れ様でした

小川佐内君

…マルンガイを紹介させていただきました

川島宥君

…一年をかえりみて「会報」が非常に充実していたので

森川忠君

…中村ガバナーエレクト事務所を訪問してまいりました

倉石昌治君

…結婚記念日祝をいただきました

斎藤正勝君

…誕生祝をいただきました

本日計 24,000円

累計 1,041,711円

■ 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
6月18日	47	32	15	100.0

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆



malunggay seed



■ロータリーひとくち情報



ロータリーの精神とは

一言で説明することは容易ではありません。簡単に言えば「一人ひとりが他人の立場に立ってものを考え、他人の役に立つような行動をすること」である。お互いに相手のことを考え一思いやりの心一が大事です。ロータリーはそういう精神を奨励し、仕事に熱意を燃やす人を育てる事を目的の一つとしています。

ロータリー精神を本当に会得するためには、言葉だけでなく自分自身で、ある程度経験を積まなければならないのではないのでしょうか。

自分は謙虚、他人には寛容。



ロータリーの理念について

「ロータリークラブは奉仕をする団体ではなく、奉仕をする人の集まり」です。

従って、個人として奉仕をする人が集まった団体で、団体で奉仕をするのは本義では有りません。だから、クラブの役員や委員の任期が一年で交替しているのを見ても解かるように会員全員に奉仕についての勉強をさせる為です。もし奉仕団体であれば有能な人を役員に据えてこれに協賛する会員がお金を出せば事足りるのです。

ロータリーは、個々の心の中にある奉仕の理想を高め、進んで奉仕を実践する指導者の育成を目指しています。



貴方が入会した意義

貴方が入会した動機はなんですか……。紹介者の勧めがあったと思いますが、自分が入会を希望しても簡単には入れません。紹介者によって推薦され一定の選考基準で手続きの上、全会員の同意で入会して頂いたのです。貴方をメンバーとして迎えた意味は、先ず、私達の奉仕の理想を貴方の業界に広めて頂くのに、貴方を適任者と認めたからです。

次に、クラブ会員は貴方の職業や社会生活に於ける体験を高く評価し、貴方との交わりの中で自分の奉仕の考え方を高め人間的にも向上することを願っているのです。